

# 鳥インフルエンザ (H5N1) に注意しましょう

平成20年4月21日に十和田湖畔で発見された白鳥の死体及び衰弱した白鳥から検出されたH5亜型のA型インフルエンザウイルスは、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所の病性鑑定の結果、「強毒性」であるとともに「H5N1」であることがわかりました。

その後、青森県や北海道においても白鳥の死体から同じウイルスが検出されました。渡り鳥のシーズンを迎え、次のことに注意しましょう。



## 鳥インフルエンザ (H5N1) とは?

鳥インフルエンザとは、鳥類がA型インフルエンザウイルスに感染して起こる病気で、ヒトがかかるインフルエンザウイルスとは異なったウイルスです。鶏などの家きん類が感染すると全身出血などの激しい症状で100%近く死んでしまいます。

また、ヒトへの感染が重なると、ウイルスの遺伝子が増え、ヒトからヒトに容易に感染するようになった「新型インフルエンザ」の発生が危惧されています。

## 感染を防止するためには?

### 【野鳥からの感染防止のための注意事項】

- ①衰弱又は死亡した野鳥を見つけた場合、直接触れないこと
- ②もしも触れた場合には、速やかに手洗いやうがいを励行すること
- ③野鳥との接触後、発熱等の健康状態に異常があった場合には、保健所に連絡したうえで、医療機関を受診してください。



不用意にさわらない



弱った鳥や死んだ鳥



うがい



手洗い

日常生活においては、鳥の排泄物等に触れた後には「手洗い」と「うがい」をしていただければ、過度に心配する必要はありません。

## 死亡した野鳥を見つけた場合は?

死んでいる野鳥を見つけた場合には、鳥に素手で触らずに二重のビニール袋に入れてきちんと封をして、一般廃棄物として処分することができます。処分した後は、手をよく洗い、うがいをしてください。

なお、一般廃棄物の処分についてご不明な点があれば、市町村にお問い合わせください。

野鳥の大量死などを見つけた場合は、自然保護課又は各地域振興局森づくり推進課に連絡してください。



## 飼育している鶏や小鳥は大丈夫?



家庭や学校などで飼っている鶏や小鳥は、ウイルスを運ぶ可能性のある野鳥を近づけないで、清潔な状態で飼育し、触った後は手洗いとうがいをすれば大丈夫です。

また、飼育している鳥が死んだからといってすぐに鳥インフルエンザを疑う必要はありません。

原因がわからないまま、連続して鳥が死んでしまった場合は、その鳥に素手で触ったり、埋めたりしないで速やかに保健所にお知らせください。

## 水鳥の餌付けは大丈夫?



水鳥への餌付けは、しばらく自粛をお願いします。

また、水辺等で水鳥の糞を踏むような場所に立ち寄った場合は、念のため靴底を洗ってください。

## 鶏肉・卵の安全性は?

鳥インフルエンザについては、これまで、鶏肉や鶏卵を食べてヒトに感染した事例はありません。

鶏卵を「生」で食べることによるヒトへの感染は報告されておきませんが、不安な方は、加熱(中心温度70℃、瞬間)をおすすめします。

また、鶏肉は十分加熱して食べてください。未加熱又は加熱不十分なまま食べることは、食中毒予防の観点からおすすめできません。



## 《鳥インフルエンザについては次の窓口へ御相談ください》

### ヒトへの感染不安に関すること

健康推進課 ☎018-860-1424  
大館保健所 ☎0186-52-3952  
北秋田保健所 ☎0186-62-1165  
能代保健所 ☎0185-52-4331  
秋田中央保健所 ☎018-855-5170  
由利本荘保健所 ☎0184-22-4122  
大仙保健所 ☎0187-63-3403  
横手保健所 ☎0182-32-4005  
湯沢保健所 ☎0183-73-6155  
秋田市保健所 ☎018-883-1180

### 野鳥に関すること

自然保護課 ☎018-860-1613  
各農林部森づくり推進課  
鹿角 ☎0186-23-2275  
北秋田 ☎0186-62-1445  
山本 ☎0185-52-2181  
秋田 ☎018-860-3381  
由利 ☎0184-22-8351  
仙北 ☎0187-63-6113  
平鹿 ☎0182-32-9505  
雄勝 ☎0183-73-5111

### 愛玩(ペット)鳥に関すること

生活衛生課 ☎018-860-1593  
動物管理センター ☎018-828-6561

秋田県

